

ノロウイルスによる感染性胃腸炎

最近、クリニックを受診する下痢・嘔吐の子ども達が多くなりました。保育園でも流行っているようです。

ニュースによりますと10月28日に埼玉県の小学校で一年生の児童13人が嘔吐し、その翌日には137人の児童と3人の先生が嘔吐・下痢を発症、登校した27人の児童も嘔吐が始まり、ついに2日間の休校となっています。原因はノロウイルスでした。

ノロウイルスによる急性胃腸炎は、毎年11月から流行し、1~2月がピークになります。厚労省の発表では年々患者数が増加傾向にあり、2006年には少なくとも100万人が感染し、2,000人以上が死亡したということです。特に乳児やお年寄りなど抵抗力がない人が重症化するのでしょうか。しかし、通常は後遺症もなく2~3日で治癒します。

潜伏期間は1~2日で、主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛です。発熱は軽度です。感染経路は、患者の吐いた物や便（ひと・ひと感染）と汚染された貝類からの経口感染（食中毒）です。

治療法は、特別なものではありません。一般的には下痢・嘔吐に対しての対症療法です。脱水症状が強い場合は点滴する事もあります。大事なことは二次感染の予防が基本です。

まず手洗いです。トイレの後は手を洗いましょう。重ねたトイレットペーパーに染み込んで手に付きます。従って、水道の蛇口、トイレのノブなど要注意です。



排便の世話の後にも手洗いを徹底しましょう。おむつ交換は掃除（消毒）しやすい所で、下痢がひどい時は汚れてもよい敷物の上で行い、汚染したらそのまま捨てます。



吐いた物はマスクと手袋を使用しながら、ペーパータオルで静かに拭き取ります。乾燥するとウイルスは容易に空中を漂い、これが口から入ってきます。

お風呂では、まずお尻をきれいにしましょう。下痢のある人は一番最後に入ることです。タオルの共用はやめましょう。患者の下着や衣類は他の家族のものとは別に洗濯します。布団は日光でよく干します。

問題の消毒法ですが、石けん、逆性石けん、アルコール類では完全には除去できません。有効なのは、次亜塩素酸ナトリウム、いわゆる塩素系消毒剤（ハイターやキッチンハイターなど）です。

作り方は、500mlのペットボトルにペットボトルキャップ1杯（約5ml）のハイターを入れれば、500ppmの消毒液になります。それを2倍に薄めて、床拭きに使用します。

加熱による消毒では、85℃、1分以上でOKです。まな板、包丁、食器、ふきん、タオルは熱湯消毒が有効です。

ノロウイルス感染の予防対策は、

- ① 適切な排泄物の処理
- ② 手洗い
- ③ 消毒

を地道に続ける事です。

（たまなは）